

受賞者《阪急電鉄株式会社》

＜日本初！カーボン・ニュートラル・ステーション 摂津市駅誕生＞

- ・省エネ施策導入により新駅での CO2 排出量を約 1/2 まで削減し、残りも排出枠（環境省オフセット・クレジット）を使ったカーボンオフセットにより実質的に排出量ゼロを達成
- ・太陽光発電、照明の LED 化、雨水利用、エレベーター回生電力利用、無水トイレ、ヒートポンプ式電気給湯器、緑化推進等の環境施策の積極導入
- ・駅構内での環境の取組の紹介や環境メッセージ列車の運行による一般市民、乗客への啓発活動を実施

1. 「鉄道とまちづくり」からの環境施策

新駅南側で摂津市・民間事業者が開発を進めている「南千里丘地区」は「地球温暖化対策モデル地区」と位置づけられています。公共交通事業者として環境問題に取り組んでいる当社もその理念に賛同し、まちの玄関口となる新駅「摂津市」において CO2 排出量実質ゼロ（カーボン・ニュートラル）を目指し、環境施策に取り組むことといたしました。

2. 『カーボン・ニュートラル・ステーション』について

摂津市駅では駅の運営に起因する CO2 排出量を実質的にゼロにすることを目標としている。様々な環境配慮施策により可能な限りの CO2 排出量の削減を行い、直接

削減困難な部分については、CO2 排出枠を使って相殺（カーボンオフセット）することにより、カーボン・ニュートラルの実現に取り組んでおります。

駅に起因する CO2 排出に関しては、照明やエレベーター等により消費される電力とトイレ洗浄等に使われる上水道によるものがあります。それらに係る CO2 排出量をゼロにするため、「太陽光発電」、「LED 照明」、「エレベーター回生電力利用」、「ヒートポンプ式電気給湯器」、「雨水利用」、「無水トイレ」、「緑化推進」を実施しており、これら施策により、駅の運営に起因する CO2 排出量のうち約 51%の削減を見込んでいます。削減困難な残り約 49%は、兵庫県宍

粟市での森林保全活動により創出される CO2 排出枠（環境省オフセット・クレジット）を利用したカーボンオフセットを実施しています。



3. 環境啓発活動について

当社線をご利用のお客様にも環境問題への関心を高めていただけるよう摂津市駅開業に伴い様々な取り組みを実施しております。

駅利用のお客様に対しては、駅構内の太陽光発電量の表示液晶モニターや構内



地下道に、駅の環境施策・技術などに関する解説、掲示を行っています。また、ホーム上の看板は、行政、民間企業にご協力いただき各団体で実施している環境への取組などを掲出し、環境情報発信をテーマとしたものに統一しております。

駅以外では、環境メッセージ列車「カーボン・ニュートラル・トレイン 摂津市駅号」(1編成)を摂津市駅の開業日(平成22年3月14日)から7月末日まで京都線で運行いたしました。本列車は、京都線で最も省エネ性能

の高い車両にイラストラッピングを施し、また駅



と同様のカーボンオフセットを実施することで運行期間中の電力使用に係るCO2排出量を実質的にゼロといたしました。また、車内では沿線行政等と連携し、各行政の環境への取り組みや摂津市駅の環境施策をポスターで紹介し、情報発信を行いました。



阪急電鉄株式会社

取締役社長 角 和夫

〒563-0056

大阪市北区芝田一丁目16番1号

電話 06-6373-5085

URL <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/>

創立 1907年(明治40年)10月

<箕面有馬電気鉄道創立>

環境基本理念 阪急阪神ホールディングスグループは、地球環境の保全是人類共通のテーマであるとの認識のもと、よりよい地球・生活環境を次世代に引き継ぐため、環境に配慮した事業活動を推進し、持続的発展が可能な社会づくりに貢献します。



平成16年8月

PiTaPa 導入

営業 ^{キロ}	140.8km
駅 数	86 駅
車両数	1,319 両